



↑ 作品を説明する高校生達



↑ お米が描かれた作品。この少し上流には水と木と土が描かれたものがあり、これらで松葉川の豊かな大地を表しています。

松葉川青年団の復活と新たな取り組み

窪川の中心部から車で約 15 分。のどかな風景が広がる松葉川地区には、四万十川にかかる一番古い沈下橋、一斗俵沈下橋があります。昭和 10 年に完成したこの沈下橋は、川を渡るにもいつも危険と隣り合わせであった当時の状況を一変させ、地域の大切な生活道として活躍しました。役目を終えた今でも多くの観光客がこの橋を渡り、今もなお地区の歴史を伝える一つの資源としてその役割を担っていることから、重要文化的景観にもなっています。先月、そんな地域のシンボルでもあるこの沈下橋を舞台に、地元の青年団によって文化とアートをかけあわせた新しい取り組みが行われました。

■ 青年団復活！ ■

小春日和となった 11 月 23 日、一斗俵沈下橋周辺で「いっとひょう沈下橋アートプロジェクト」が開催されました。このイベントを主催したのは、約 30 年ぶりに復活した松葉川青年団。20 代～50 代の 8 人で構成されたこの青年団のメンバーである吉田健一さんが、このイベントと青年団復活の仕掛け人です。吉田さんは四万十町の地域おこし協力隊として松葉川地区を担当しており、2018 年に四万十町にやって来ました。もともとは愛媛県でサラリーマンをしながら、パフォーマーとしても活動していた経験を持ち、現在も「松葉川健一」という名前でイベント等でパフォーマンスを行いながら、地域の観光振興に取り組んでいらっしゃいます。そんな吉田さんの活動もあって、産業の衰退や小学校の休校問題

など課題を抱える松葉川地域を「何とかしたい！」と今年の 5 月に青年団が発足し、その初めてのイベントとして今回のアートイベントが企画されました。さて、ここで気になるのがなぜこの田舎でアートなのかということ。「僕はパフォーマーとしても活動していますが、こういう活動を地域に反映させるとき、演劇という形が使われることが多いんです。で、演劇ってアートの一つでもあるので、自然とアートイベントをしてみたいと思いました。それでちょうど高知県文化財団に知り合いの方がいて、高知県芸術祭の一貫としてやらせてもらえることになりました。」

そして、県内でアートイベントを手掛けたこともあるプロデューサーも加わり、県内外の学生も巻き込んだ、今までにない取り組みが始まりました。

■ ソトもウチも老いも若きも ■

今回のイベントは、青年団だけでなく県内外の大学生、造形作家、地元小学生と高校生に地域住民と、多くの人に関わって実施されました。展示された作品は松葉川地域をテーマにしたものですが、作品を考えた大学生は四国内と言えども県外出身者も多く、初めてこの地域に来た人が大半だったそう。そんな中でリサーチとして松葉川に来てもらい、そこで地域住民との交流や SUP などを通して地域の文化や歴史を学んでもらい、それをもとに作品案を作り、小学生や高校生が形にしていくことで、今回の作品が作られていきました。そのため、作品の背

景には松葉川の文化や歴史を感じさせる要素がしっかり含まれており、それをガイド付きで説明することで、参加者にも伝わるように表現されていました。



↑たくさんの人で賑わう沈下橋。当日は約200人が参加しました。

■ 新たな魅力を

今回のイベントを通して青年団が目指したのは、地域の新しい魅力の発見です。地域外の人にも関わってもらい、ソトからの視点で地域を知ってもらうことで、これまで気づけなかった新たな地域資源の活用方法が見えてくることを期待しました。その結果、多くの人々が松葉川を知り、地域文化をアートによって表現するという方法を得ました。これは、文化的景観の活用法としてもヒントとなるものだと思います。また、今回地元の小学生がガイドとして作品の紹介をするにあたって、授業で地域のことについて学ぶ時間を設け、子ども達が地域のことを知るいい機会にもなりました。

イベントを終えた今、今後青年団としてどんなことをしていきたいか聞いてみました。「みんなやりたいことはいっぱいあるみたいです。例えば筏レースや子ども相撲

みたいな、昔地域で行われていた行事を復活させたいし、地域の団体とも積極的に関わっていきたくて思います。」

イベントのためだけの一時的な集まりではなく、今後も地域を盛り上げる核として活躍してくれることだろうと思います。財団としても彼らの活動に今後もぜひ関わっていきたくて感じた取材でした。



↑30年ぶりに復活した松葉川青年団。

左下の男性が今回お話を伺った吉田健一さんです。



←イベントは夜の部も行われ、昼間とはまた違った顔をみせる作品に参加者も興味津々。満天の星空の下、最後まで多くの参加者で賑わいました。

イベント情報

見て、触れて、遊んで、学べる
環境活動見本市
幡多のエコ大集合 2020
in 黒潮町
 令和2年1月12日(日)
 10:30 ~ 15:00
 【会場】土佐西南大規模公園ふるさと総合センター
入場無料
 高知県環境活動支援センターえこらぼ
 TEL: 088-802-7765

■ 環境活動見本市 幡多のエコ大集合 2020 in 黒潮町

来年1月12日(日)に、黒潮町で「環境見本市幡多のエコ大集合 2020in 黒潮町」が開催されます。幡多地域を拠点に活動している団体が、「エコ」をテーマにさまざまな企画を用意！財団はアクリル毛糸を使ったかわいいアクリルたわしづくりで参加します！他にもウニ殻標本作りや、四万十新聞バックづくりなどいろいろな体験がたくさんありますので、ぜひおいでください！

- 【開催日】2020年1月12日(日)
- 【場 所】土佐西南大規模公園ふるさと総合センター
- 【時 間】10:30 ~ 15:00
- 【参加料】入場無料(一部有料の企画があります)
- 【問合せ】高知県環境活動支援センターえこらぼ
 TEL: 088-802-7765